

GENFLUX Evaluation サービス仕様書

株式会社Elith | 第1.1版 | 2026年9月10日

1. 本書の目的・適用範囲

本書は、株式会社Elith（以下「当社」）が提供するGENFLUX Evaluationのサービス内容、利用条件、データ管理および運用・サポートについて定めます。本サービスは、標準のクラウド型サービスを基盤として、利用企業の評価目的・業務要件に応じたカスタマイズを前提に提供します。本書は共通の基本仕様を定め、各社に提供する機能・構成・カスタマイズの範囲は申込書・個別契約および合意した仕様書で定めます。

本サービスの利用には、GENFLUXサービス利用規約および申込書・個別契約が適用されます。本書と利用規約の内容が異なる場合は利用規約に従い、個別に合意した条件がある場合は、その合意に従います。

2. サービス概要

GENFLUX Evaluationは、生成AI、RAG（文書検索を組み合わせるAI）、AIエージェントの回答品質や安全性を評価するサービスです。評価設定に基づいてテストを実行し、結果と根拠を確認することで、導入判断や品質改善に利用できます。

項目	サービス仕様
提供形態	Webブラウザで利用するクラウド型SaaS
利用URL	https://evaluation.genflux.jp/
主な用途	導入前の品質確認、変更前後の比較、継続的な評価
評価対象	利用者が評価用データまたは接続権限を用意したAIアプリケーション
稼働基盤	Google Cloud。アプリケーションおよび評価データを保存するデータベース（以下、DB）は東京リージョン

3. 提供する機能

機能	内容
評価設定・実行	評価対象、テスト入力、評価条件を設定して実行
回答品質	AIの回答と質問・参照文脈等との関係性を評価
安全性・レッドチーミング	リスクや攻撃的な入力を想定したテストによる応答の評価
ポリシー適合性	設定した評価条件に基づく回答の適合性の確認
結果の可視化	評価結果、根拠、リスクおよび改善点の表示
レポート	評価結果の閲覧とPDF出力
組織・利用者管理	組織単位での利用者と権限の管理

評価項目によって、質問、回答、参照文脈など必要なデータが異なります。評価の対象は実行時のデータと設定であり、AIエージェントが行うあらゆる操作の安全性を保証するものではありません。

4. 利用環境・ネットワーク

利用者は、Webブラウザを備えた端末とインターネット接続環境を用意します。通信にはHTTPS (TCP 443) を使用します。JavaScriptおよびログインに必要なCookie・ブラウザ保存領域を利用できる環境が必要です。

社内のファイアウォールやプロキシで通信を制限している場合は、本サービスおよび認証に必要な接続を許可してください。あらゆるOS・ブラウザのバージョンでの動作は保証しません。

評価対象に接続して回答を取得する方式では、対象への到達性、認証情報および対応する応答形式が必要です。閉域網や接続元IP制限のある評価対象への接続、SSO (企業の認証基盤との連携)、専用環境は個別構成です。

5. 入力・利用量の制限

項目	サービス仕様
文書読取り機能	PDFを受け付ける。1ファイル20MiB (20,971,520バイト) まで
評価に必要な入力	評価方式に応じてテスト入力、AIの回答、参照文脈等を使用
利用人数・利用量	申込書・個別契約で定めたアカウント数および利用枠を適用
実行時間	テスト件数、データ量、評価方式、対象AIと外部サービスの応答状況により変動
容量・処理制限	画面・APIに表示される入力上限および契約上の利用枠に従う。無制限の処理・保存は保証しない

入力形式に合わないデータやサイズ上限を超えたファイルは処理できません。外部AIサービスの障害・制限等により、評価が遅延または失敗する場合があります。

6. 利用者の管理責任

利用者は、アカウントを適切に管理し、第三者への貸与・譲渡等を行わないものとします。管理者は、担当業務に応じた権限を付与し、不要となったアカウントの利用を停止してください。

入力データの投入および評価対象への接続について、利用者が適法な権限を確保するものとします。レッドチーミング等のテストは、実施権限のある対象に対して合意した範囲で行います。不正アクセス、他社データの不当な取得、過度な負荷等、利用規約で禁止される行為は認められません。

7. データ管理・セキュリティ

アカウント情報、評価設定、テスト入力、AIの回答、参照文脈、評価結果、レポート、操作・認証ログを取り扱います。入力情報の権利は利用者または正当な権利者に帰属し、評価結果の著作権は当該結果を生成した利用企業に帰属します。

項目	サービス仕様
組織間の分離	組織ごとの識別子でデータを論理分離し、所属組織・権限に基づきアクセスを制御
利用者認証	ログイン認証を実施。多要素認証は組織設定に基づき適用
通信・保存の保護	利用者との通信とDB接続を暗号化。Google Cloud保存領域は基盤の標準暗号化を利用
DBの接続	公開IPv4を無効化し、プライベート接続を使用
外部処理	サービス提供に必要な範囲で、AI基盤・API提供事業者へ処理を委託
AIの学習利用	入力情報・評価結果を当社または外部事業者のAIモデルの学習・トレーニング目的で利用・提供しない。外部事業者についても同目的で利用されないよう措置を講じる
データ所在地	アプリケーション・DBは東京。認証基盤・外部AIサービスでのデータの取扱いは各事業者の提供条件に従う
監査ログ	認証および重要なシステム操作を記録。接続元等の追加項目はイベントにより異なる
標準クラウドログ	30日保持。評価データ・監査イベントとは別の保持条件

評価データのDB保存先と、認証基盤・外部AIサービスでの処理は区別して取り扱います。利用者は、個人情報・機密情報の投入について、自社の規程と利用契約に基づき判断してください。

8. 保持・出力・契約終了

評価結果は画面で閲覧し、レポートをPDFで出力できます。評価データ・監査イベントの保持期間と一括返却について、個別契約で定めた条件がある場合はその条件を適用します。

利用契約の終了時はサービスの利用を終了します。当社は、利用規約に基づき、登録事項・入力情報その他のデータを消去できます。利用者は必要な結果を契約終了前に出力してください。契約終了後の継続閲覧・保管は保証しません。

9. バックアップ・運用保守

項目	サービス仕様
DBの可用性	東京リージョン内の複数ゾーンによる高可用性構成
自動バックアップ	DBの自動バックアップを実施し、14世代を保持
時点指定復元	有効。復元用のトランザクションログは7日保持
復元の実施	当社が障害内容と復旧対象に応じて実施。バックアップの保持期間は復旧時間の保証を意味しない
計画メンテナンス	利用企業へ事前に通知してサービスを一時休止する場合あり
緊急メンテナンス	事前通知なく休止し、事後速やかに通知する場合あり
障害・事故対応	影響範囲の特定、封じ込め、復旧、原因分析および再発防止を実施
顧客通知	登録連絡先等に通知。個別契約で通知条件・期限・方法を定めた場合はそれに従う

継続的な無停止稼働や一定の復旧時間を標準条件として保証するものではありません。稼働率・復旧時間等の保証を伴うSLAは、個別契約に明記した場合に適用します。

10. サポート・利用契約

問い合わせは、契約時に案内する窓口への電子メール等で受け付けます。サポートは本サービスの利用に関する問い合わせ対応を対象とします。カスタマイズの内容、費用、納期および保守対象は、導入時に合意した仕様書・個別契約に定めます。個別開発、データ整備、導入コンサルティングおよび契約後の追加カスタマイズは、合意した範囲で提供します。

利用料金、契約期間、アカウント数および利用枠は、申込書・個別契約に記載した内容を適用します。解約、返金、責任範囲その他の契約条件は、適用される利用規約・個別契約に従います。

評価結果は実行時の入力・設定に基づくものであり、結果の完全な正確性、欠陥がないこと、特定の業務目的への適合を保証するものではありません。利用者は評価結果と根拠を確認し、自らの判断で業務に利用してください。

11. 認証・文書の改定

当社は、企業向けAI活用SaaSプラットフォーム「GENFLUX」の提供を対象とするISO/IEC 27001:2022 (ISMS) およびISO/IEC 42001:2023 (AIMS) の認証を2026年8月21日付で取得しています。認証の適用範囲は認証書に従います。

当社は、一般社団法人日本ディープラーニング協会 (JDLA) によるAIガバナンス第三者認証「C認証 (AI Governance Core Certification) 」を2026年8月4日付で取得しています。C認証は、当社のAIを管理・利活用する組織体制と運用の仕組みを対象とする法人単位の認証です。

本書は2026年9月10日時点の仕様を記載しています。仕様変更時は版番号・改定日を更新します。利用条件の変更に伴う周知・適用開始日は利用規約に従います。

改定履歴：第1.0版 / 2026年9月10日 / 初版発行。

改定履歴：第1.1版 / 2026年9月10日 / 正式ロゴに統一。提供条件の変更なし。